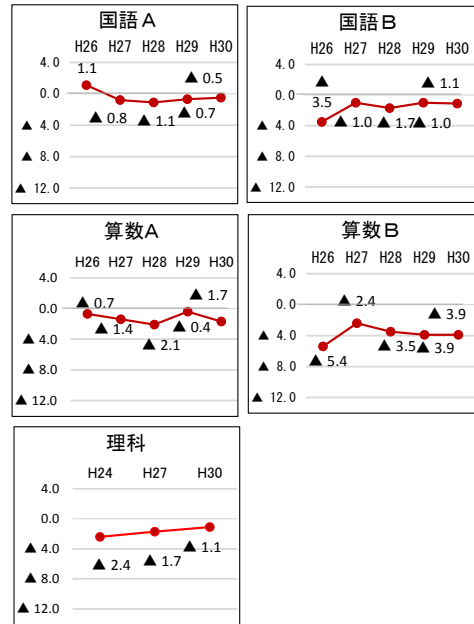


■小学校の状況(学校数:54校、児童数:1686人)

【平均正答率】

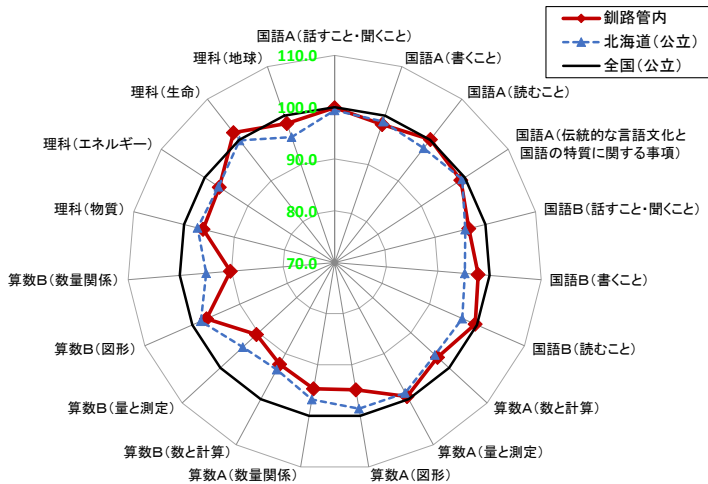
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
釧路	70[70.2]	54[53.6]	62[61.8]	48[47.6]	59[59.2]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

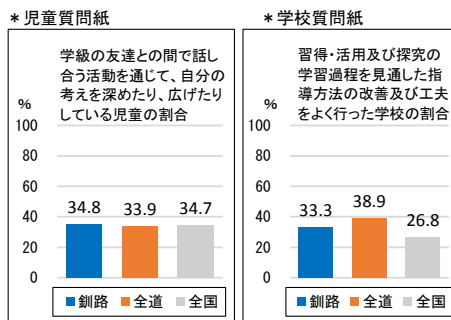
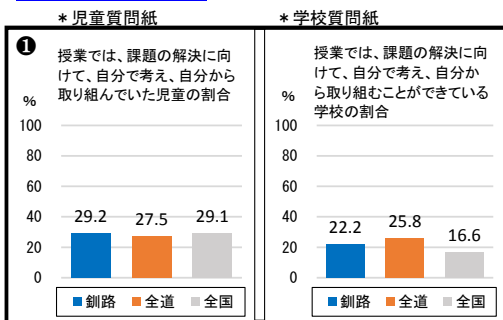
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものである(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



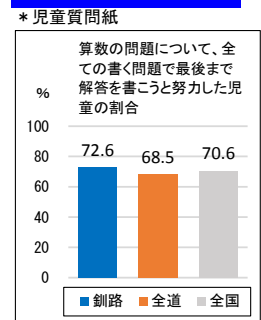
※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

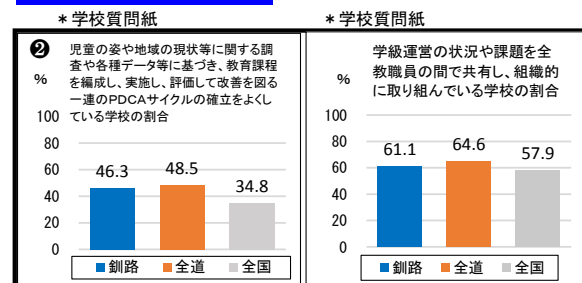
指導方法



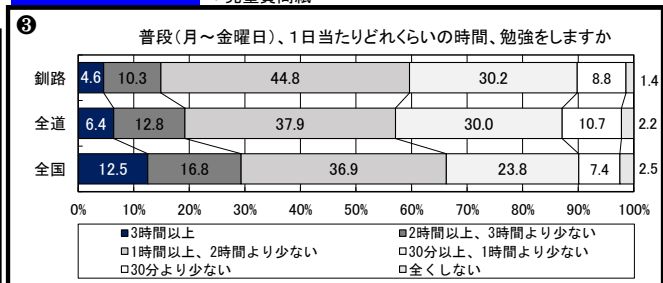
学習意欲



カリキュラム・マネジメント



学習習慣



【分析及び改善の方向性】

教科	分析
国語A	○ 全国と比較し、国語Aの「読むこと」、理科の「生命」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語B、算数A・Bの全ての領域で下回っている。特に、算数Bの「量と測定」「数量関係」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は29.2%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていない学校の割合は22.2%であり、いずれも全国を上回っているが、学習内容の確実な定着を図るため、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。 ② 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルの確立をよめている学校の割合は46.3%、学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は61.1%であり、いずれも全国を上回っているが、学力向上の取組をさらに充実させるため、課題の要因を明確にした上で、定着の状況に応じて効果的な指導を行うとともに、学校全体で組織的に取り組む学校体制づくりを一層推進する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は59.7%であり、全国を下回っていることから、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図るなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

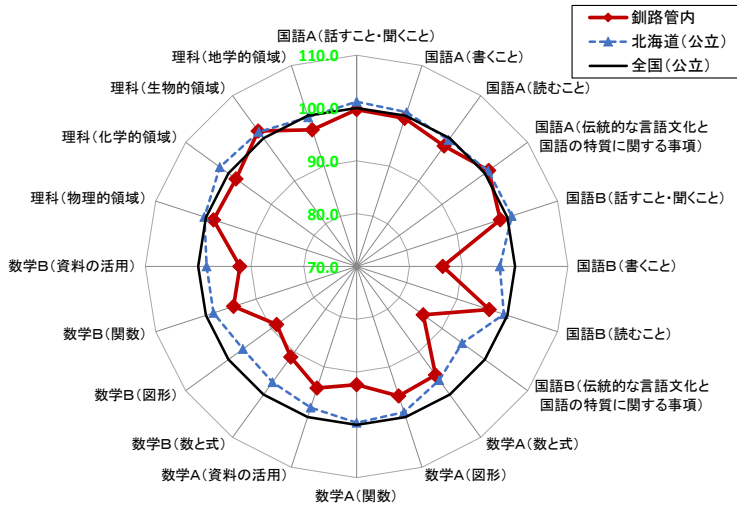
■中学校の状況(学校数:38校、生徒数:1693人)

【平均正答率】

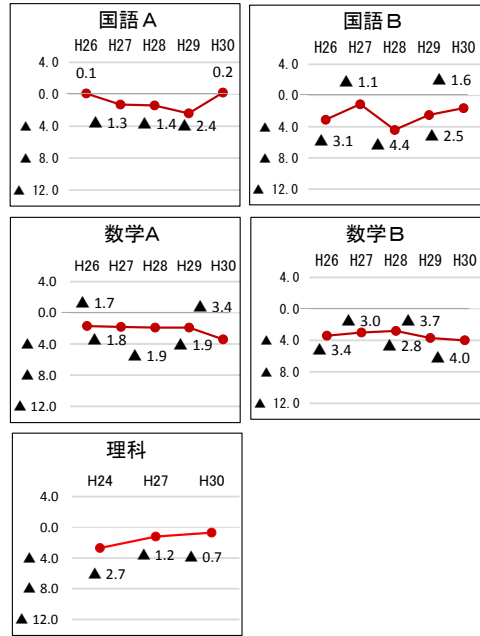
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
釧路	76[76.3]	60[59.6]	63[62.7]	43[42.9]	65[65.4]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

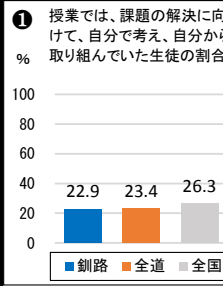


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

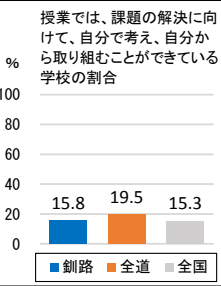
【質問紙の状況】

指導方法

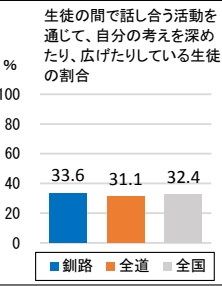
* 生徒質問紙



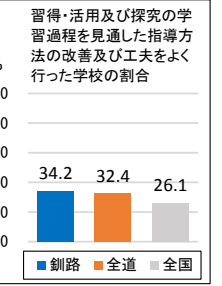
* 学校質問紙



* 生徒質問紙

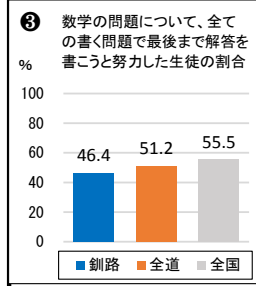


* 学校質問紙



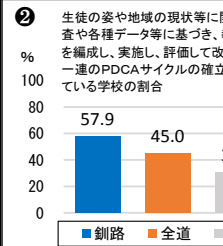
学習意欲

* 生徒質問紙

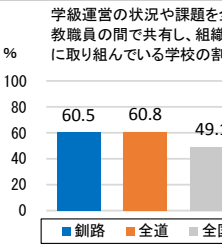


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

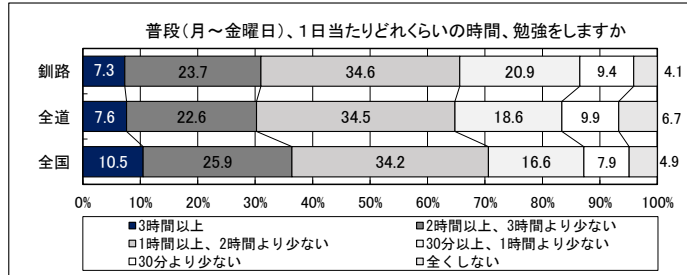


* 学校質問紙



学習習慣

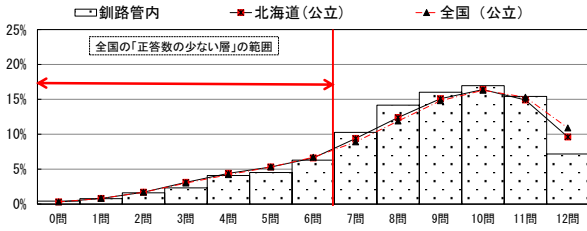
* 生徒質問紙



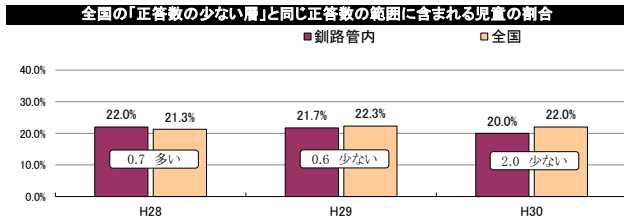
【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科の「生物的領域」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語B、数学A・Bの全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「図形」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は22.9%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていない学校の割合は15.8%であり、生徒の回答が全国を下回っていることから、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。</p> <p>② 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は57.9%であり、学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は60.5%であり、いずれも全国を上回っているが、学力向上の取組を充実させるため、課題の要因を明確にし、定着の状況に応じて繰り返し指導を行うなど、一層組織的に指導計画の工夫改善を図る必要がある。</p> <p>③ 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は46.4%であり、全国を下回っていることから、学ぶ意欲を高め、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実する必要がある。</p>

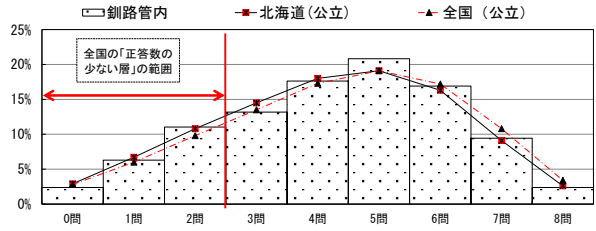
小学校国語 A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,686	8.4 / 12	70.2	9.0	2.5
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



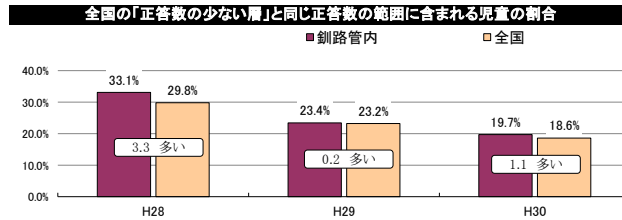
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



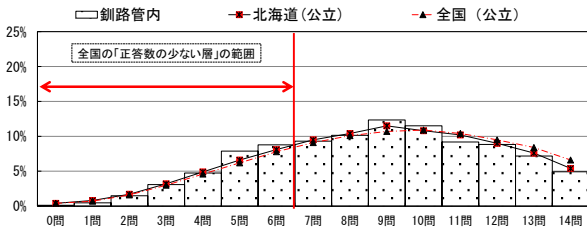
小学校国語 B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,686	4.3 / 8	53.6	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



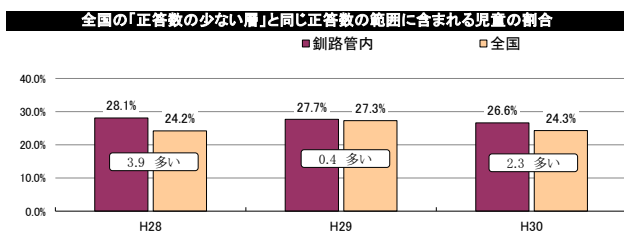
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



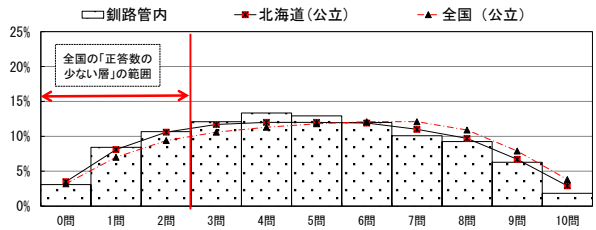
小学校算数 A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,686	8.7 / 14	61.8	9.0	3.1
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



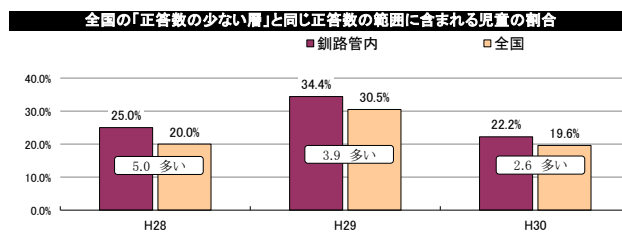
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



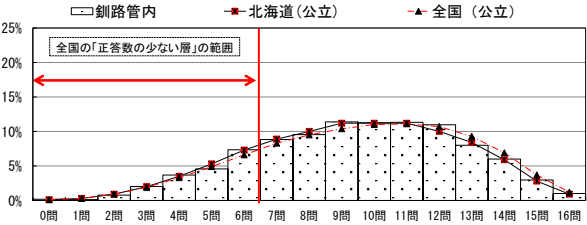
小学校算数 B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,686	4.8 / 10	47.6	5.0	2.5
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



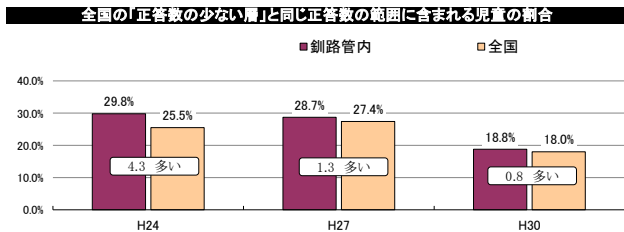
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



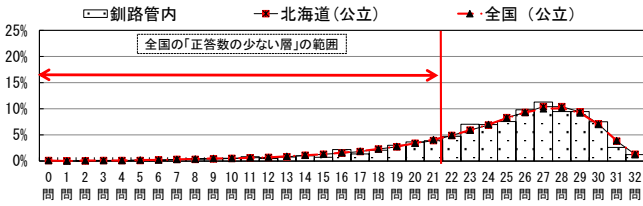
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,686	9.5 / 16	59.2	10.0	3.1
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



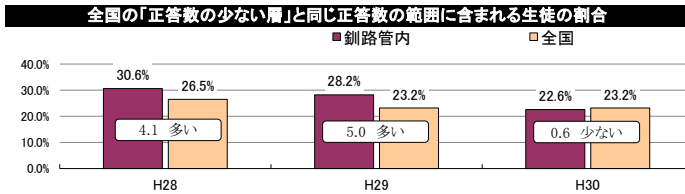
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



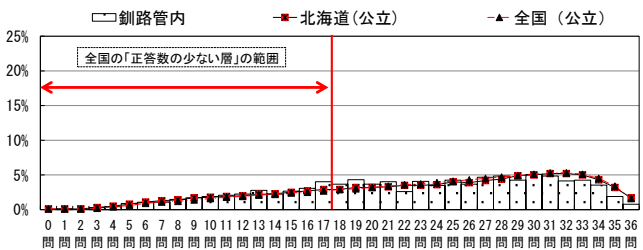
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,693	24.4 / 32	76.3	26.0	5.1
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



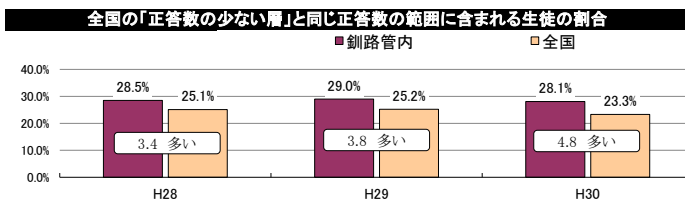
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,693	22.6 / 36	62.7	23.0	8.0
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



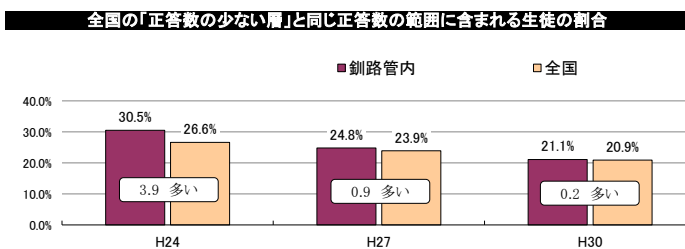
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



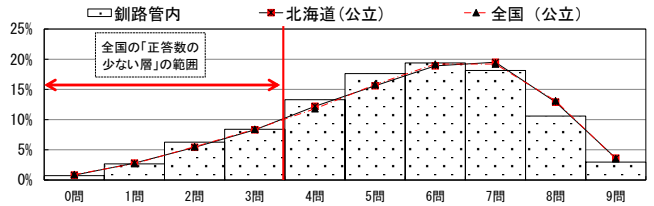
中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,689	17.6 / 27	65.4	18.0	5.0
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



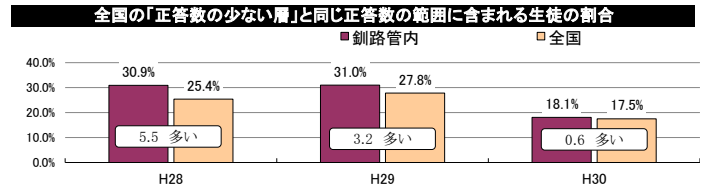
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



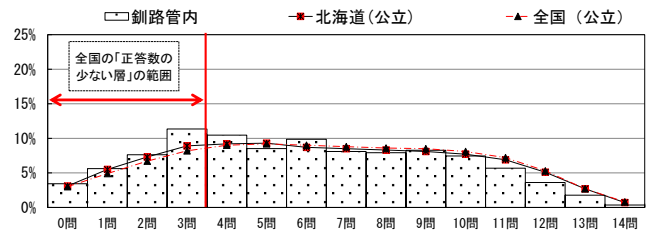
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,692	5.4 / 9	59.6	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



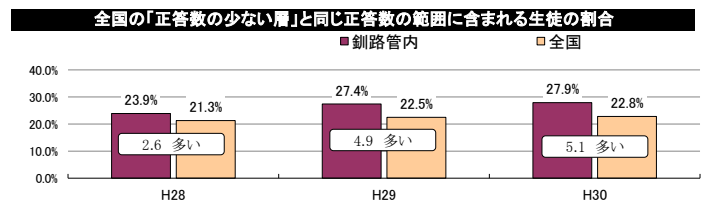
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
釧路管内	1,692	6.0 / 14	42.9	6.0	3.4
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A		小学校国語B	
釧路管内	全国	釧路管内	全国
31.8%	29.4%	27.3%	26.5%
全国との差 2.4多い		全国との差 0.8多い	
H30中3 : 0.6少ない		H30中3 : 0.6多い	

小学校算数A		小学校算数B	
釧路管内	全国	釧路管内	全国
22.5%	21.7%	27.8%	25.2%
全国との差 0.8多い		全国との差 2.6多い	
H30中3 : 4.8多い		H30中3 : 5.1多い	

小学校理科	
釧路管内	全国
28.7%	27.4%
全国との差 1.3多い	
H30中3 : 0.2多い	